

哲學研究

第三十七卷 第八册

第四百三十號

昭和三十年三月二十日發行

史學研究會

佛陀の沈黙とその中觀的意義……………長尾雅人

始元（完）……………酒井修

——ヘーゲル「論理學」に於ける「否定」の研究——

新着外國雜誌所載論文一覽

京都大學文學部內
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行う
 - (一) 毎月一回研究会を開く
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委囑する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年一、〇二〇圓、又は半年五一〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

京都哲學會役員

委員

有賀鐵太郎	池田義祐	石田仁	井島勉	上野照夫	白井二尙	重澤俊郎	島原太夫	園原太郎	高田三郎	武内義範	田中美知太郎	長尾雅人	西谷啓治	野田又夫	松尾義海	三宅剛一	三田部達郎	矢田部達郎
-------	------	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	--------	------	------	------	------	------	-------	-------

を強ひてこの重荷に喘がせる壓制的先行者の横行を意味するのではなく、この自己を人格としての矜持を保たしめつ
つ自由ならしめる解放者の登場を意味する。蓋し此の自己は他の何者とも比較出來ずこれに決して似て居ないので
あるが、主體性の立場こそ自己以上に自己に近く自己である自己へ——眞の自己へ此の自己を導く立場だからであ
る、他の何者にも似ないものへ自己を似させる所の人格的立場だからである。自己が自己である以上に解放されて
る事がまたとあり得ようか。 *Philosophie* の始まりではなく *Philosophieren* そのものの「始元」こそ、此の哲學者の
吾々に對する意味でなければならぬ。されば、いざ希はくは此の「始元」の研究が筆者にも又讀者にも *echt* なる
「始元」であらんことを！——良き教育者の知性や聰明なる両親の意志は導かるべき少年の素質や天分に對して先づ
否定として遂には眞の肯定として感ぜられねばならない。

(筆者 京都大學文學部「哲學」大學院學生)

(完)

前 號 目 次

普遍、概念、意味……………	森口美都男
始 元 (六前)……………	酒井 修
「ヘーゲル」の「理想」に於ける「否定」の研究	
書評 金子武藏「實存理性の哲學」(大友文由)	
新著外國雜誌所載の文一覽	

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費(年一、〇二〇圓又は半年五一〇圓)をお拂込下さい

「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」

一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい、一年分(又は半年分)會費は原則として本誌十二冊(又は六冊)の送附濟を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年(又は半年)毎に精算します

一、會員の轉居入退會等(編集事務以外は一切)の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい

一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十年三月十五日印刷
昭和三十年三月二十日發行

編輯人

京都哲學會
京都大學文學部内

右代表者

三 村 勉

發行人

八 坂 淺 太 郎

印刷人

伊 藤 久 春
京都市田中西浦町四〇

印刷所

弘文堂印刷所
京都市田中西浦町四〇

發行所

株式會社 弘文堂
東京都千代田神田區河原四ノ四

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金郵税共(一部、定價一〇〇圓・郵税八圓)前金にてお送り下さい

一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

昭和三十一年三月十五日
發行
（每月一回）

THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXVII

March, 1955

No. 8

The Silence of the Buddha and its Madhyamic

InterpretationGadjin M. Nagao

'Beginning': A Study on the Problem of 'Negation'

in Hegel's "Science of Logic" (III)Osamu Sakai

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定價
金一〇〇圓